

青空 葵

が、燃えるような熱い血でわたくしを満たすの。ああどうかこのわたくしの熱い血を受け取ってくれまし。ね、これって一体何の儀式？何で私はそんなに血をあげたがるの？この人貧血？これ献血のお話？

田辺

比喩です。

青空 葵

ひゅゆ？

玉木

燃えるような熱い想いを、血に例えてるんです。

青空 葵

バツカじゃん。「好き」って言えば済む話じゃない。二文字で終了。もう疲れた。

田辺胃を押さえる。稽古場は妙な空気。玉木、空気を読んで。

玉木

みなさん！遅くまで大変お疲れ様でした。今日の稽古はここで終了したいと思います。一度お集まり下さい。

宮本 進

(上手の袖に走り込み) 舞台上へお願いします！

上下の袖から、徐々に俳優達が集まってくる。

玉木

えー台本は二幕五場まで楽屋の方にお配りしてあります。あと小松さんのご配慮で、劇場に早く入れるようになりましたので、明日の稽古開始は朝、4時からです。

キャスト達

(悲鳴)

火野 竜

(玉木に近づき) まだ新聞来てねえよ。

玉木

あ、すいません間違いました。朝5時です。

キャスト達

(悲鳴)

火野 竜

(玉木に近づき) まだ新聞読んでねえよ。

玉木

ご理解下さい。お疲れ様でした。

キャスト達

お疲れ様でした。(それぞれに、ざわつきながら退場)

玉木

ワイヤレスは、マイク置き場にお願いますー！

早見よし子

先生。木の葉の衣裳、ちょっと地味過ぎやしないかしら？これココ

田辺

にちょっと付けるだけで華やかになると思ってますよ。(赤リボン)

リッキー吉野

お母さん。マツチ売りは地味でいいんです。

リッキー吉野

木の葉さん。作曲家として一言。マツチを売る時のセリフが音楽に

早見よし子

流され過ぎてる。

リッキー吉野

はい。(木の葉は頷く、よし子はメモる)

早見よし子

身よりもなく、貧乏だけど、セリフは泣かないでちょうだい。

リッキー吉野

はい。(木の葉は頷く、よし子はメモる)

リッキー吉野

もっと笑顔で健気に演じる事によって音楽とお芝居が調和するの。

田辺

(田辺に) ね。
(リッキーに) はい。(木の葉に) そうです。

早見よし子

はい。(木の葉は頷く、よし子も頷く)

山寺修司

宮本！セット飾っつけ。

宮本

はい！マコちゃん手貸して下さい。(酒場のシーンのセット)

仙石丈二

田辺君、ちよっといいかね？

田辺

はい。

仙石丈二

今の場面、演出して頂けるかな？

田辺

はい！

仙石丈二

まず堂々と、「お前達の光は、今、何処にある」と進み、右に振り返り「ココにあるのだ！」それとも、左に振り返り「ココにあるのだ！」どっちだ？

田辺

…はい、(意見しようとした時に仙石が喋る)

仙石丈二

大抵の演出家はセオリー通り右に振り返りますが、正面向きだと少し客に媚びてるように見えないかな？そこが気掛かりなんだ。

田辺

はい…(意見しようとした時に仙石が喋る)

仙石丈二

私が思うに、このミルドラス王は王子アルフレッドを異常なまでに溺愛していたのでは？

田辺

…はい、(意見しようとした時に仙石が喋る)

仙石丈二

やはりそうか！ではココは客に背を向けてでも、王と王子のベクトルをしっかりと見せた方がリアリティーがあるな。いやどうもありがとう。素晴らしい演出だ。

田辺

…

仙石下手舞台奥へ退場。続いて上手から泉たちが田辺に近づく。

泉 信弥

田辺さん、オフィス沢木です。あの、リアカーの男がマッチ売りに

田辺

気付く芝居がみんなどうもしつくり来なくて！見て頂けますか？

泉 信弥

はい。

田辺

こう来て、二度見して「どけ邪魔だ」がいいか、こう来て、三度見

田辺

して「どけ邪魔だ」がいいか迷ってるんですけど。

泉 信弥

一度で気付きましょう。

小池 隼

分かりました！いいな！

小池 隼

はい！

泉たち退場。青空葵が田辺に近づく。途中で大熊下手から登場。

青空 葵

ねえナベちゃん。これも全部覚えるの？(追加された台本を持って)

田辺

はい。

青空 葵

あたし自信ないわ。だって銀行の暗証番号だって覚えられないのよ。

あと私の役名、もっとカッコいいのなかしら？ペローニア・ロード
リゲスって何かスゴク毛深そうじゃない？例えば、こんなのどう？

田辺

大熊寿三郎

青空 葵

玉木

青空 葵

玉木

青空 葵

玉木

青空 葵

玉木

青空 葵

アンジェリーナ・シヨリー。

んん……。 (胃を押さえる)

米子帰るぞ。

ちよつと、今先生とお話してるんだから。

(田辺を気にして) 葵さん、普通にロドリゲスって言うて毛深そう
だけど、ちよつと英語っぽくって言うてみて下さい。

ん？ Rodriguez

yeah!

私はRodriguez!

yes!!!

とにかくRodriguez!!!

!!最高!

あれ!?何か格好いい! (大熊の方へ) ねえちよつと、あんた。ここ
フリガナ間違ってたわよ。お陰で恥かちやつたんだから!

大熊退場。青空と舞台下手へ退場。衣裳の馬場が外套を持ち、

照明家の加藤と揉めながら上手奥から登場。

加藤数男 (照明家)

馬場和子 (衣裳)

加藤数男

小松茂雄

馬場和子

小松茂雄

加藤数男

小松茂雄

馬場和子

小松茂雄

加藤数男

馬場和子

玉木

馬場和子

だから、そんな事したら照明の色が出なくなる!
でも、客席で見て変だったのよ!
それはあなたの勝手な判断です!
どうしました?

田辺さん、冒頭のシーン、雪が降ってるのに、村人達が薄着なのは
やっぱり変よ。コートを着せてもいいかしら? (外套持って)
そうですね。

田辺さん! 民衆の怒りを表現する色は赤だ。そんなもの着たら民衆
が赤く染まらない! 打ち合わせ通り、赤でいきます。

そうしましょう。

でも、変なものは変なのよッ!
変ですね。

それじゃ! 真っ白なコートを着せてください! それなら赤は出る!
ヘーイタリアの農民は真っ白なコート着て畑耕すんですか! ? 斬新過
ぎる! ? コシノ・ジュンコもビックリ! そんな金持ちなら、別に作物
採れなくたっていいじゃない。だったらせむし男追っ掛けなくてい
いじゃない。それじゃお話にならないじゃない! (田辺に) ねえ!
馬場さん。こつ解釈したらどうですか? 農民は貧乏で服も買えない。
だから薄着の方が、より貧しさが引き立つ。

(口を尖らせ) まあ玉ちゃんがそういうなら、私はそれでいいわよ。
でも中には「雪降ってるのに薄着は変よね。」とか言う意地悪なお

玉木

加藤数男

田辺

小松茂雄

ばちゃんいるのよ。あたしみたいなの。

そういう人には言わせておきましょう。ね、加藤さん。

赤は出るんだな。

はい。

じゃこの件は、そういう事で、と言う事で。(額の汗を拭く)

馬場と加藤、上下へ分かれて退場。続いて下手奥から、大村光

代と付き人の南マコが大村の大きな荷物を持って登場。玉木と

小松はその様子を少し見て、上手に退場。

大村光代

田辺

大村光代

南 マコ

大村光代

田辺

大村光代

田辺

大村光代

田辺

大村光代

田辺

大村光代

田辺

田辺さん、少し話せるかしら。
はい。

マコ。車で待つててちょうだい。

はい。(退場)先生お疲れ様でした。

ご迷惑お掛けしてないかしら?うちのマコ。おっちょこちよいだから。

いいえ、踊りのセンスも抜群です。でも裏方までお手伝い頂くのは、

少し気が引けます。

いいのよ、舞台の上手も下手も知らないんだから。お勉強させてや
つて。

はい。

(座りながら)先程頂いたシーン、読ませていただいたわ。

すみません。遅れてしまつて。

でも、先は見えてるんでしょう?

はい。

だったら大丈夫よ。前の2人は、先が見えないうちに死んじゃつた
んですもの。

いや死んではないかと/思いますけど。

音楽M8B (劈く光代)照明変化。と同時に吠える大村。舞台

前のライトが巨大な影絵を作る。下手袖から突風とスモーク。

大村光代 (リバーブ) 同じ事よ!書けない作家は死んだも同然!

照明戻る。突風止む。

大村光代

田辺

大村光代

田辺

でも大丈夫?あの子?(少しマネて)スポンサーの。
すみません!

大変ね。喜劇だったらよかったのに。(笑う)でもあなたは目の付
け所がいいわ、それによく書ける。

(田辺座る)ありがとうございます。

大村光代

最近の現代劇ときたらドタバタばかりで、こういう中身のある作品にはなかなかお目にかかれないもの。

田辺

僕もドタバタは嫌いです。やはり大村さんには重厚な／お芝居で演じ

音楽M8C (劈く光代) 照明変化。と同時に吠える大村。舞台前のライトが巨大な影絵を作る。下手袖から突風とスモーク。

大村光代(リバーブ) もっと私を生かしなさい! 大村光代は強烈な色付けが必要なんだよ!

照明戻る。突風止む。酒場の出演者板付き。

大村光代

ダメよ、私なんかの為にセリフを変えちゃ。ただちよつと色を付ければいいだけなんだから。

田辺

ではもう一度／人物設定を考えてみます。

大村光代

(食って) ダメよ、私なんかの為に。体に気を付けて。

大村下手前に退場。田辺は大村を見届け、恐怖におののきながら胃薬の瓶を取出す。上手前から玉木が田辺の鞆を持って登場。

玉木

ナベ。スタッフさん、楽屋口でお待ち。ナベ!

田辺

(振り返り) タマちゃん……。

照明ピンアウト。玉木上手退場。田辺下手退場。

(2分30秒)

M9 酒場の女

前奏で照明酒場にフェードイン。舞台は安酒場ジルの店。3つの丸テーブルと椅子がセットされている。センターテーブル(前方)にジルと、王子とお付き。下手にウーラと客。上手にパミナと客。ジルが酒を一気に煽り、歌い出す。

栗原あけみ(ジル)

男はアタイを アバズレと言うけど

(酒を持ちながら)

淋しいだけなの 分かっちゃいない

本当のアタイを 誰も知らない

南 マコ(ウーラ)

女は気まぐれ 騙され上手

(下手のテーブル)

長谷川楓(パミナ)

気付かぬ振りして 試してるのよ

(上手のテーブル)